受　入　家　庭　留　意　事　項

参考資料

1.　来日ＹＥ生の成田空港にての出迎え

来日生フライトスケジュールに合わせて、地区ＹＥ委員が３３３-Ｅの目印を持って待機します。

来日生のＩＤナンバーを確認しＹＥ生を引き受けます。（空港には他地区の出迎えも多い）

遠路はるばる来た来日生をホストＬＣ及び（又は）ホストファミリーは、空港に温かく迎えることは有意義なことです。ここで来日生の紹介や引き渡しをします。

この時の出会いは、歓声を上げたり、握手をしたり、記念写真を撮ったり感動の一時です。

2.　来日生の日程及び滞在中について

到着当日は、あまり色々な予定を組まないようにします。

来日生が遠方から来る場合、１日、２日の休息が必要です。

時差による体調の変化を正常化する必要性もあります。予定を立てる場合この点を考慮して下さい。

また、来日生の躾（しつけ）は日本流、”郷に入ったら郷に従え“ 時には叱ることも結構です。

一切、特別扱いせず甘やかさないように、常に家族の一員として取り扱って下さい。

来日生が欲しい物についての購入費は、来日生本人が負担するようにしてください。

基本的には、寝食提供すれば良いといわれていますが、一緒に家族の手伝いをさせたり、日常の買い物をしたり、日本の日常生活を体験させることで、充実した体験にすることが出来ると思います。観光させる場合もありますが、出来れば地域の仏閣などを見せるのが望ましいと考えます。

わざわざ遠方へ泊まりがけで旅行に連れて行く必要性はありません。

一方、ホストＬＣも日頃、地域で青少年健全育成活動のノウハウを活かして同世代の若者と接触させる機会をみつけバックアップして下さい。

こうした事が国際的な体験・教育に重要な意味を持つのではないかと思います。
また、来日生は基本的にホストＬＣの主催する例会訪問や、行事その他の催しに招くことがあります。その時はホストファミリーを一緒に招くようお願いします。

滞在期間中、ホストＬＣはホストファミリーに協力しますので、問題や質問があれば、遠慮なくホストＬＣに連絡して下さい。
言うまでもなく、ホストファミリーはホストＬＣとお互いに連絡を密にしてスケジュールを考えて下さい。
◎帰国前の行事は、温かい心に残る印象深い行事を選んで下さい。

3.　来日生キャンプの開催（夏期のみ開催）

4.　来日ＹＥ生の空港にての見送り
来日時と同様に地区ＹＥ委員が来日生の帰国フライトスケジュールに合わせて、ＹＥ生を確認し見送りの段取りをします。ホストＬＣ及び（又は）ホストファミリーは、空港にて YE 生をお見送りください。